

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月28日 (2018.6.28)

【公開番号】特開2017-29320(P2017-29320A)

【公開日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-151309(P2015-151309)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 0 0 D

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 B 5/00 D

A 6 1 B 5/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月18日 (2018.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベッド上の被験者の生体状態を判定する生体状態判定装置であって、
ベッド又はベッドの脚下に設けられ、前記被験者の荷重を検出する複数の荷重検出器と

、
前記荷重検出器の出力から呼吸情報を取り出す呼吸情報取出部と、
前記取り出された呼吸情報と予め用意した参照情報とを比較して前記被験者の呼吸状態を判定する判定部と、

前記判定部により判定された被験者の呼吸状態を出力する出力部とを有する生体状態判定装置。

【請求項 2】

前記生体状態判定装置は、前記荷重検出器の出力に基づいて前記被験者の体位を求める体位特定部を更に有し、

前記出力部が、前記体位特定部により求められた被験者の体位を出力する請求項 1 に記載の生体状態判定装置。

【請求項 3】

前記生体状態判定装置は、前記判定部により判定された前記被験者の呼吸状態と、前記体位特定部により求められた前記被験者の体位とを関連付ける関連付け部を更に有する請求項 2 に記載の生体状態判定装置。

【請求項 4】

前記出力部は、前記求めた体位を、人体の形状を模した映像を用いて出力する請求項 2 又は 3 に記載の生体状態判定装置。

【請求項 5】

前記判定部は、前記被験者の呼吸状態が、平常呼吸状態、いびき状態、無呼吸状態のいずれであるかを判定する請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の生体状態判定装置。

【請求項 6】

前記呼吸情報は前記被験者の呼吸に応じた前記荷重検出器の出力の時間的変動を示す波形であり、前記参照情報は前記被験者の呼吸状態を示す波形である請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の生体状態判定装置。

【請求項 7】

前記参照情報を記憶する記憶部と、
前記判定に使用した呼吸情報と、前記判定の結果とを関連付けて更新情報を作成する情報収集部と、
前記更新情報に基づいて前記参照情報を変更する情報編集部とを更に有する請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の生体状態判定装置。

【請求項 8】

前記判定の結果に基づいて報知を行う報知部を更に有する請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の生体状態判定装置。

【請求項 9】

ベッド上の被験者の生体状態を生体状態判定装置により判定する方法であって、
ベッド又はベッドの脚下に配置された複数の荷重検出器により前記被験者の荷重を検出することと、
呼吸情報取出部により前記荷重検出器の出力から呼吸情報を取り出すことと、
判定部により前記取り出された呼吸情報と予め用意した参照情報とを比較して前記被験者の呼吸状態を判定することを有する方法。

【請求項 10】

体位特定部により、前記荷重検出器の出力に基づいて前記被験者の体位を求めることを更に有する請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

関連付け部により、前記判定された前記被験者の呼吸状態と、前記求められた前記被験者の体位とを関連付けることを更に有する請求項 10 に記載の方法。